

2022年5月11日
三菱プレジジョン株式会社
代表取締役 取締役社長 藤本 聖二

創立 60 周年にあたって

1962年5月11日、三菱グループ4社(『三菱』)と米国GPI社(General Precision Inc.) (『プレジジョン』)の合弁会社として当社『三菱プレジジョン株式会社』が誕生しました。創業当初の売上高は10億円規模、社員数は60名での船出でした。

それから60年の間、多くの方々に支えられ、現在では売上高200億円規模、社員数約800名の会社となりました。お客様、株主各位、お取引先、諸先輩方等を始めとする全ての関係各位に、心より御礼を申し上げます。ありがとうございました。

現在当社は、創業以来のシミュレーションシステム事業、防衛・宇宙事業、パーキングシステム事業の3つの事業を推進しています。「航空機・鉄道・自動車」の教育訓練用シミュレーションシステム、「航空機やロケット・人工衛星」の搭載機器、「人と車の結節点」であるパーキングシステムと、いずれも人々の「移動する社会」を支えている重要なインフラに関わるビジネスです。

新型コロナで一旦は停滞した人々の移動は、今後、再び活発になると確信しています。それぞれの事業において、AIやクラウドネットワーク等の新たな技術を活用した「より利便性の高いシステム」を提供し続け、これからの移動社会の発展に貢献して参ります。

現在の新型コロナ禍を含め、これまでの60年の間、当社は幾度かの経営危機に陥りました。その度に、関係者全員が一致協力して、それぞれの難局を乗り越えてきました。この積み重ねも、今の当社の事業推進の支えになっています。皆で事に当たる「絆」の大切さと、周囲の多くの方々への「感謝の心」が、お互いに信じ合える仲間(企業体)を作っていると思います。これからの70周年、80周年・・・、そして100周年に向けても変わることなく、「絆」と「感謝の心」を大切に、全員で歩んでいきたいと思えます。

最後に、60周年はあくまで通過点の一つとし、今後とも社会の重要なインフラを支える会社として、一層成長するべく努力して参ります。関係各位の皆様方に、これまで以上のご指導・ご鞭撻をお願い申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

以上